



「FMやまと」77.7MHz は必需品です！ 地域の話、大和市民広報 そして緊急時の指定放送局となっています。

中高生といっしょに夏のイベント盛りだくさん！

FMラジオを作ってお年寄りにプレゼント！

ラジオ作りを教えていただいた科学探検隊 臼井生郎さんからのメッセージです。

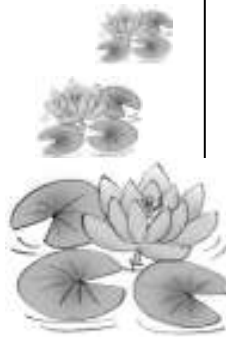
FMラジオ製作に参加の中学生、高校生の皆さんご苦労さまでした。ハンダ付けが初めての参加者もおられました、最後まであきらめず頑張り、全員ラジオを完成することができました。時間的にラジオを調整し、放送を聞く時間が十分取れなかったことが残念です。

完成したラジオを科学探検隊が確認のため、持ち帰り動作確認をしましたところ、13台中9台は、受信動作正常、残り4台は、リード線の誤接続、部品不良、ハンダ付けの修正などを施し、すべて受信動作正常となりました。

ラジオの製作を通じて、物作りの楽しさを体感したことを契機に学校での理科の授業がより一層面白く探究心をもって接することができるよう、科学探検隊一同願っています。

ラジオキットを寄贈していただいたFMやまと社長 竹下達幸(つらゆき)さんからのメッセージです。

関係者、また指導者の熱心な教育に感銘しました。今は小さな出来事でもいつかは大きな力になると思います。中高生のボランティア活動の輪が広がるように将来FMやまとが聞けるラジオが大和市いっばいに広がる大きな力になると思います。



夏休み中高生ボランティア体験「このゆびとまれっ！」

大和市民活動センターは次の活動を企画しました。

8月10日(月)台風のため残念ながら中止などもありましたが、若者たちの活動の輪はますます広がっているようです。今回は終わったものも含めいくつかをご紹介します。

サウンドテーブルテニス	7月27日(月)	9:00~12:00	大和市民保健福祉センター
FMラジオを作ってお年寄りにプレゼント	8月1日(土)	10:00~16:00	大和市民活動センター
ワン・ピースとの交流会	8月5日(水)	14:00~17:00	大和市民活動センター
ワン・ピースとの交流会	8月7日(金)	13:00~17:00	大和市民活動センター
しんちゃんハウス子育て支援	8月10日(月)	13:00~17:00	南林間小学校体育館
サウンドテーブルテニス	8月17日(月)	13:00~17:00	大和市民保健福祉センター
皆で食べようバーベキュー	8月21日(金)	10:00~15:00	なかよし公園
しんちゃんハウス子育て支援	8月24日(月)	13:00~17:00	しんちゃんハウス

ワン・ピースとの交流会に先立ち、8月3日(月)に「知的障害児とのコミュニケーションの取り方」について、ワン・ピース理事長・滝本美知留さんのお話がありました。

8月1日(土)10:00~16:00 市民活動センターで FMラジオを作りました。

ラジオ製作の中高生13名、指導して下さった科学探検隊4名、サポーター2名、見学関係者など部屋はハンダ付けに負けない熱気でした。参加者のみなさんの感想は・・・

良かったこと

- さいごまでがんばってできてよかった。(Sさん)
- みんなで協力してできてよかった。(Sさん)
- ラジオができて雑音でも聞こえたこと。(M君)
- ラジオが無事に完成して良かった。(T君K君)
- ラジオ作りがよくわかった。(Kさん)
- 案内書だけじゃ難しくてできなかったと思うけど、科学探検隊さんたちがしっかり教えてくれたので私でもできました。(Oさん)
- 普段話すことがないような年配の人達に教えていただいてラジオ作りのこと以外でも、いろいろな話が聞けて良かったです。(Tさん)
- 普段できないことができた。(Tさん)
- 1つ1ついいねいに教えてくれたから最後まで作ることができた。(Tさん)
- 完成した時は嬉しかった。(Tさん)

大変だったこと

- 作るの少しまちがえただけで失敗するので、すごく集中しなければならなかった。(Nさん)
- 部品の番号を読むのが大変だった！(字が小さかったので)(Tさん)
- 完成してから、音はなるけどFMやまとがきけない！っていう事態が・・・(Tさん)
- ハンダ付けが細かい作業だったので大変だった。(T君)
- 部品が小さくて、探すのが大変だった。

その他

- 最後は上手く行かなかったけど、でも色々学べて良かったです。また、はやくお年寄りの方に渡して、喜んでほしいです。(Nさん)
- ラジオ作りのボランティアに生徒と共に参加し、3つの学ぶことがあった。
- ① 年齢のある指導員の方々と生徒と一緒に物作りをし、失敗してしまった時には指導員の方が厳しくも一生懸命直す姿を目にしたこと、学校では学べない物作りの厳しさを学ぶ
- ② 集団で物作りすることで周りの進度に合わせることの難しさや、協力しあうことの大切さ
- ③ 公共の場での礼儀。生徒も私自身も様々な事を学ぶことの出来る経験であった。(S.O.)

サポートハウス ワン・ピースとの交流会



8月5日(水)・7日(金) 大和市民活動センター

8月5日(水) 8月7日(金) サポートハウス ワン・ピースとの交流会

ワン・ピースからはこども12名(内中学生3名)、スタッフ6名、サポーターとして高校生5名、一般2名、市民活動課2名、センタースタッフ2名、そして今回も“かき氷”は菊池さんをお願いしました。今年も和やかな交流会が開けました。暑かったので“おやつのかき氷”に大喜び。自分がチラシで作ったものをお土産にしてくれた子もいました。

上の写真で様子が分かるかな？子どもたちは進んでお絵書きに加わりました。中には声の小さい子がいて、ちょっと会話に苦労したりもしましたが、一生懸命話してくれる子もいて、子どもが何をしたいかが分かった時はうれしく、すごく楽しいひと時でした。またこのような活動を通して何か学ぶことができればと思います。

「センター」のある日ある時

8月5日(水)晴れ 視覚障害者の高橋ミヤさん来館。8日(土)に郷里の北海道に帰省すると言う。先日の「このゆびとまれっ！」の「サウンドテーブルテニス」に参加した生徒6名との練習がとても楽しかったと語りそのお礼に帰省先から絵葉書でお礼状を出したいと言う。これを機会にまた中高生との交流が生まれるといいですね。

エッとおどろく！ ハッと気づく！

5月6日(水)にスタートした すぐ役立つ 連続「実践編集ミニ塾」

日時： 毎週水曜日 9:30~10:30
場所： 大和市民活動センター

塾長： [拠点やまと]メンバー小杉だれでも参加自由

小杉さんに聞きました。「なぜ、すぐ役立つミニ塾って、いうのでしょうか」

小杉さんの答え「この塾に参加の塾生が毎度2人から4人程度。時間も1時間ちょっと。だから「ミニ塾」でも、講座の中身は濃い。質は高いと自負していますよ。継続はチカラ。今度の8/19(水)で15回目になります」毎日届く新聞やチラシなど、塾の教材はまわりに満ちみちているので、臨機応変に取り上げて、みんなで分析。考える。これが面白い。今まで印刷物を漫然と見ていたけれど、流されないできちんと観察する目がこの編集ミニ塾で獲得できたように思うと、塾生からの感想を聞きます。うれしいなあ」



これからも大和市民活動センター企画イベントが続きます！

第4回市民活動団体交流まつり

カッコーフェスタ'09 11/7(土)・8(日)

あなたの企画で、活動の輪をひろげましょう！

登録団体交流会(8月22日:土)の次は

さあ市民のみなさんに活動アピール！

*ご案内は8月下旬の予定です。

第5回やまと国際交流フェスティバル

開催日： 3月21日(日)

会場： 大和駅プロムナード

主催：やまと国際交流フェスティバル実行委員会

●大和市民活動センターも出展参加します。

何力国の人とお友達になれるかな？

活動交流の「カッコーちゃん」(カッコーフェスタのシンボル)



NPO サポートハウス「ワン・ピース」って？

障害児とその家族を支援するため平日午後児童・生徒の日中一時支援(預かり)事業を実施しています。代表 滝本美知留さん *4ページにFMやまと出演ニュースも載っています。

NPO 地域家族「しんちゃんハウス」って？

地域福祉、子育て支援を中心に児童保育を運営の柱にして、さまざまな方々の出入りの場となっています。代表 館合みち子さん

センター施設使用のマナーです

会議室の予約状況はHPで3か月分見られます。当日キャンセルの場合は利用(予約)料金をいただきます。使用できなかった団体への配慮をお願い致します。

ともいく 第23回連続 共育セミナー報告 大和市民活動センター

7月27日(月)18:00~海老名市在住 小島篤子さん(NPO 日本交流分析協会インストラクター・TA 心理カウンセラー)の「共に生き育みたい」が行われました。先ず熊さん47種類のカードから「今の自分を見つけてくださ〜い！」こんな和やかな雰囲気から始まりました。すでに先生のお話は“人との交流”についてドンドン進んでいたのです。

対人関係を育む「ストロークとディスカウント」を分り易く具体的に話されます。特にストローク(相手の存在や価値を認める働きかけ)の大切さを知り、日常回りに起きている要因に「アッ！」と気付かせてくれました。

「プラスのストロークを出していない人はプラスストロークを受け取れない」「プラスのストロークで満たされていないとプラスストロークは出せない」色々な例を聞きながら考えさせられた貴重な時間でした。